

日吉大社自然観察倶楽部通信

No.8 万葉の植物と奥宮参拝

H23年10月16日



秋晴れの天気の中、16名で八王子山山頂の奥宮を参拝しました。八王子山は381mの高さがあり、距離は750m、ゆっくり歩いて1時間の行程です。

まずは今回のメインである、万葉集に歌われた植物を探しました。左の写真は「うはぎ (ヨメナ)」の群落です。

妻もあらば 摘^たみて食^さげまし 沙^さ弥^みの山

野の上のうはぎ 過ぎにけらずや

と万葉集では詠まれています。美容に良

いとされていたヨメナ(の新芽)を妻がいたら夫に食べさせただろうに。今は時期が過ぎてしまったと残念に思う…夫を思う妻の気持ちを歌ったというのが要約です。他にも道中でハギ・スギ・ヒ(ヒノキ)・東本宮のカツラ・八王子山のいちひ(イチイガシ)・クズ・かへるで(カエデ)・をばな(ススキ)などを観察し、万葉集の歌と照らし合わせていきました。中でもススキは、今では枯れ野やお月見をイメージしがちです。しかし、万葉人は穂が出たススキから乙女をイメージした歌を詠んでいます。総じて、植物に対するイメージが昔と今では大きく異なっていること。また、現代人は植物を客観的にとらえるが、万葉人は植物と一体感を持ってとらえているということ。感情をストレートに表現する傾向があると言えそうです。こういった万葉集の愛の歌を日吉大社に参られた方に身近に見ていただける様、ただ今計画中です。

急な山道を登りきると、そこには素晴らしい眺望が待っていました。坂本の町並みと広がる琵琶湖・遠くには近江富士が霞んでいます。そして、正面には**金大巖(こがねのおおいわ)**が鎮座していました。右の写真で分かるでしょうか。高さ10mの巨岩で、古くから坂本の地域住民に崇められ、日吉大社の磐座(いわくら)であり、真東を向いています。

また、金大巖の隣にある2つのお宮が奥宮と呼ばれています。金大巖を挟んで、右が牛尾宮(うしおぐう)・左が三宮宮(さんのみやぐう)です。断崖に柱を立てて、その上に建物が作られています。今回は須原さんの計らいで、特別に中を見せていただきました。山王祭を除いて、普段入ることはできません。





中に入ると拝殿があり、それぞれの祭神が祭られていて、皆でお参りをしました。その他に、山王祭の時に灯す御灯りや、神輿を置く台などを間近に見ることができました。左の写真が牛尾宮とその内部です。牛尾宮は、男の神様である大山咋神(おおやまくいのかみ)が祭られています。それに対して、三宮宮の祭神は、女の神様である鴨玉依姫神(かもたまよりひめのかみ)です。面白いことに神様にも優劣があり、比べてみると三宮宮の方が質素な作りになっていました。

忘れてはならないのが、山頂で素敵な出会いがあったことです。私たちが弁当を広げていると、金大巖に音楽を奉納しに来た方が現れ、オカリナとコカリナの演奏を聴くことができました。贅沢な時間を味あわせてもらいました。

帰りは、御灯道(おあかりみち)を通り、西本宮に出ました。行きと比べて、皆さんの足取りが軽かったのが印象的でした。最後に西本宮の近くの茶屋でまとめをし、万葉集に対する皆さんのイメージを深め合いました。



山頂での集合写真

参加者は、
 万代さん夫妻・小林さん
 竹中さん・藤田さん
 細野さん・阿部さん
 小林さん・藤居さん
 中野さん・大鍋さん
 日吉さん・佐方さん夫妻
 辻田・田中

観察したもののリスト

2011.10/16 日吉大社～(御灯道)～八王子山

木など：ハギ・スギ・カツラ・ヒノキ・クリ(実)・モミ・ツガ・イチイガシ(実)
 イロハモミジ・ヤブムラサキ(実)

ツル植物：ノササゲ(実)・クズ・ツルニンジン(花)

草本など：ヨメナ(花)・ススキ・フユノハナワラビ

動物・昆虫：サワガニ・ツクツクボウシ・ウラギンシジミ